

## 行政経営会議 事案書

開催日：令和7年12月18日（木）

担当課：未来政策部財政健全化プロジェクト

件 名：大和市財政健全化ビジョンについて

提出理由：大和市財政健全化ビジョンを策定するにあたり、その内容について了承を得るため

内 容：

### 1. 取組の背景

- ・本市は、令和6年度決算で経常収支比率が100%を超え、財政の硬直化が進行しているほか、財政調整基金の枯渇が懸念される厳しい財政状況となった。
- ・財政調整基金が枯渇した場合、歳出規模の激減を余儀なくされるほか、今後に起こり得る社会経済の変化や災害等への対応が十分になくなる恐れがある。
- ・このことから、今後新たに取り組むべき政策課題に対応し、事業の持続可能性を担保することを基本的姿勢とする「財政健全化ビジョン」を策定する。

### 2. 現状分析

- ・県内の類似団体(\*1)と比較して義務的経費(\*2)の割合が高くなっている。扶助費が右肩上がり増加している。目的別では民生費のうち児童福祉費のウェイトが大きい。
  - \*1 本市と人口、産業構造が同程度の団体
  - \*2 人件費、扶助費、公債費の合計
- ・シリウスなどの大規模施設分も相まって、公共施設の維持管理経費が増加している。
- ・公債費については増加傾向にあるものの、実質公債費比率などの指標数値は国が規定する早期健全化の基準を大きく下回っている。
- ・すでに令和元年度決算では経常収支比率が99.7%に達しており、財政硬直化が進行している状況が顕著になっていた。
- ・総合計画の実施計画で定めていた財政見通しに収支不足額があり、計画策定段階に課題があった。
- ・単年度の歳入のもとで歳出を行うという基本的な財政規律よりも、現下の政策課題の実現が優先されていた。

### 3. 財政見通し

- ・収支不足額は令和8年度に31.2億円(\*3)、令和9年度に31.8億円、令和10年度に41.6億円となる見込み。
  - \*3 R7.8月時点の財政見通しにおける収支不足額
- ・収支不足額を財政調整基金繰入金で補う財政運営を続けた場合、財政調整基金の残高は令和9年度に枯渇することが見込まれる。

### 4. 今後の取組の方針

- ・目的 総合計画に掲げる施策の着実な推進及び財政規律を確保した行財政運営
- ・目標 適切な行財政運営を行うガバナンス体制の構築並びに財政調整基金の残高を減少させない範囲での予算調製及び財政見通しの策定
- ・期間 令和7年度から令和9年度
  - \*R8年度予算編成からR10年度予算編成まで
- ・取組策  
次の取組内容等を記載した「(仮称)財政健全化プラン」を策定していく
  - ▶令和10年度までの収支バランスのとれた財政見通し
    - \*財政調整基金繰入金、繰越金を適正規模としたもの
  - ▶歳出事業のビルド&スクラップ
  - ▶歳入確保の強化策
  - ▶経営基盤強化、財政規律確保のガバナンス向上策

### 5. 推進体制

- ・市長を本部長とする健全財政・改革本部のほか幹事会を設け、取組を推進していく。

経 過

R7. 8 市議会全員協議会で説明

R7.10 未来政策部に財政健全化プロジェクトリーダー及び特命担当課長を配置

今後の予定

R7.12 議会説明

R8. 2 タウンミーティング

R8.10 (仮称)財政健全化プラン(案)策定  
議会説明、パブリックコメント実施

R8.11 (仮称)財政健全化プランの決定